

(学校用)

回答日：令和 5年 1月17日

前橋市公民館運営審議会では、前橋市からの諮問「地域と学校を結ぶ公民館」に対して、令和4・5年度の2年間で協議を行い、答申書を前橋市に提出します。つきましては、学校と公民館との連携事業等について、以下のご質問への回答にご協力をお願いいたします。

1 令和4年度学び合い・人権・地域ふれあい事業

前橋市芳賀公民館・共愛学園前橋国際大学共催

共愛地域連携講座「上毛を学ぶ～芳賀地区の戦国時代を学ぶ～」についてお聞きします。

(1) 本講座の開催趣旨を教えてください。

- ・芳賀地域の歴史を学ぶことにより、芳賀地区を中心とした市民の地域理解を深める機会としたい。
  - ・共愛学園前橋国際大学と地域公民館との共催事業を行うことで連携による地域貢献に資するため。
- 以上の2点です。

(2) 本講座を公民館と連携して開催するねらいを教えてください。

共愛学園前橋国際大学は、地域とともに生きるという理念を持っています。公民館は地域の核であるため、そこと連携させていただくことにより、地域に根ざした大学ということを知っていただくとともに、より身近な場所で市民のみなさまとともに我々も学ばせていただくことが、ねらいです。

2 令和4・5年度前橋市公民館運営審議会の諮問「地域と学校を結ぶ公民館」についてお聞きします。

(1) 地域と学校を結ぶ公民館として、公民館に期待することは何ですか。

公民館との連携の可能性はまだまだ多くあるように感じます。市民のニーズを身近に受け取っているのが公民館ですので、大学にできそうなことがありましたら、公民館の方からもどんどん提案していただけますとありがたいです。

(2) 公民館と連携して事業を行う際、苦勞する点はありますか。

(双方ともですが、) 担当者の変更により、良い事業が毎年のこととして続かないということがたまに見受けられ、残念に思うことがあります。

公民館(や人)によってやり方が違うというのは、わかっていますので、少し驚くこともありますが、お任せすべきことはお任せし、やっていただいているので、とても助かっています。

(3) 学校と地域がこれまで以上に連携するために必要だと思えることはありますか。

お互いのニーズをすりあわせることかなと思います。公民館のニーズや、大学でできることをもう少しお互いに知ることのできるしくみがあると良いと思います。

(4) 学校と地域がこれまで以上に連携するために公民館がすべきことは何だと思えますか。

公民館からも発案していただくことかなと思います。もちろん大学側でもできないこともあるかもしれませんが、発案も期待したいところです。そのためには、どんなことができるのか、ということも大学も示す必要があるとも思います。お互いの対話が必要なのではないでしょうか。

(5) 今まで公民館や地域の諸団体・組織と連携した事業の中で上手くいった、失敗したという事例があればご記載ください。

10年以上やっていますが、だいたいいつもうまくいっているように思います。

(6) 上記の事例で、成功・失敗のポイントは何だったとお考えでしょうか。

公民館側のご協力のたまものだと思っています。  
大学のつながりならではのプロパーをコンスタントに招聘できること、もあるかもしれません。  
また、あえて言うなら、講師謝礼を大学側が出している、ことですかね。市の謝礼の規定が安すぎるので、見直していただかないと、市の予算ではお願いできません。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

前橋市公民館運営審議会事務局  
前橋市中央公民館内 担当：春原（すのはら）  
TEL 027-210-2199 FAX 027-237-0722